

九州地方の火山活動解説資料 (平成 18 年 1 月)

福岡管区气象台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態であった火山
- ：解説を掲載した火山
- ：その他の火山

この資料は、気象庁のデータその他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。
本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ(標高)」を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

九重山[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[やや活発な状況(火山活動度レベル2)
静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山性連続微動の振幅は小さい状態が続くなど、火山活動はやや活発な状況から静穏な状況になりました。

雲仙岳[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山・御鉢[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
監視カメラで火口縁を越える噴気を時々観測しました。火山活動はやや活発でした。

霧島山・新燃岳[静穏な状況(火山活動度レベル1)]
下旬に微小な火山性地震が増加しました。噴気等の活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(火山活動度レベル2)]
噴火*は1回ありました。下旬に微小な火山性地震が増加しましたが、桜島の火山活動としては比較的静穏でした。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
噴火はありませんでしたが、噴煙活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]
火山性地震のやや多い状態が続き、火山活動はやや活発でした。

諏訪之瀬島[活発な状況(火山活動度レベル3)]
噴火が時々発生するなど、火山活動は活発でした。噴火日数は14日間、爆発的噴火は14回でした。

*桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは一定規模以上の噴火の回数を計数しています。

今月及びこれまで公表した火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区气象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料の公表は、3月7日(火)の予定です。

火山情報発表状況(平成 18 年 1 月)

火山名	情報名	発表日時	概要
阿蘇山	火山観測情報第 1 号	6 日 11 時 00 分	やや活発な状況(火山活動度レベルは 2) 現地観測結果(中岳第一火口の湯だまりの量、色、表面温度、噴湯現象等)と 1 週間の火山活動状況(地震・微動、噴煙等)
	火山観測情報第 2 号	13 日 11 時 00 分	
	火山観測情報第 3 号	20 日 11 時 00 分	静穏な状況(火山活動度レベルは 2 - 1) 阿蘇山の火山活動は低調な状態が続いており、噴火の可能性は低く、火山活動は静穏になったと判断。